



仙台ベルフィーユバレーボールクリニック

女子中学生約150人がプロの技術を学ぶ

6月9日、市内外の女子中学生を対象にした「仙台ベルフィーユバレーボールクリニック」(財団法人白石市文化体育振興財団主催)がホワイトキューブで開催されました。クリニックには、市内外の16の中学校から約150人が参加。「仙台ベルフィーユ」の諸隈英人監督や選手9人から、基本動作や個々のレベルに応じた練習方法などを学びました。参加者は「プロの選手やほかのチームの選手とふれあうことができ、とても楽しかったです。より高い目標を持つことができました」と話してくれました。



Cycle Aid Japan 2012

この笑顔が、日本の元気につながれば！ 復興願い自転車疾走

5月27日、東日本大震災の被災県を自転車で走り、観光の復興を後押ししようと言われていた「Cycle Aid Japan 2012」(一般社団法人自転車協会主催)がゴールの日を迎えました。5月12日、八戸市発の南下ルートと千葉県市川市発の北上ルートでスタートしたこのイベント。毎週土、日曜の計6日間、延べ約1,400人が岩手、福島県内などの公道を走りました。5月26日には、北上ルート「福島-白石蔵王-宮城」参加者がホワイトキューブに到着。大鷹沢子ども太鼓の演奏でお出迎えし、白石温麺を振る舞いました。翌日は、約150人の参加者が、ゴール会場の宮城野原公園総合運動公園(仙台市)を目指し、ホワイトキューブを出発。東日本の魅力を身体で感じながら軽快にペダルをこいでいました。



2012 南蔵王夏山開き

新緑の南蔵王を約40人が満喫

5月27日、南蔵王の夏山登山シーズン到来を宣言するとともに、安全祈願を行い登山する「2012 南蔵王夏山開き」が行われました。夏山開きには、市内外から健脚ぞろいの約40人が参加。トドマツなどの木立が生い茂る山道約8kmを8時間半かけてゆっくりと歩き、見ごろを迎えたミネザクラやショウジョウバカマの写真を撮るなど、新緑の南蔵王を楽しみながら、山歩きで汗を流しました。



1_「能・橋弁慶」の一場面 2_牛若丸役を演じる黒澤くん

夢は能楽師



くろさわ いき 黒澤 樹くん (福岡小3年)

公演の6カ月前から小島先生の指導を受け、月2回練習に励みました。でも、それだけでは足りないと感じ、自宅毎日DVDを見ながら練習して、本番の日を迎えました。

あまり緊張しないで落ちついて演じることができたと思います。将来の夢は能楽師です。夢に一步でも近づけるように、これからも一生懸命練習に励みたいと思います。

能・狂言鑑賞会 能・橋弁慶

東日本大震災復興祈念・碧水園能楽堂修復完成記念!

6月2日、東日本大震災により被災した碧水園能楽堂が2月に修復を終え、震災後初となる能・狂言鑑賞会「能・橋弁慶」(白石市伝統芸能振興会主催)が行われ、約300人の観客が訪れました。この日は、鑑賞に先立ち観世流能楽師の小島英明さんが、能・狂言の歴史や曲の種目、演目のあらすじなどを解説。観客たちは次々に披露される能や狂言の世界に味わいを深めていました。武蔵坊弁慶と牛若丸の出会いを描いた「能・橋弁慶」で牛若丸役を演じたのは、福岡小3年の黒澤樹くん。能では通行人を斬り回っていたことになっている牛若丸役を見事に演じ、賛辞と惜しめない拍手が会場に響き渡りました。白石初の能楽師が誕生する日が今から楽しみです。

第16回わんぱく相撲仙南場所

小学生力士約50人が熱戦

6月3日、「第16回わんぱく相撲仙南場所」(白石青年会議所主催)が宮小学校(蔵王町)土俵場で開催されました。大会には、仙台市以南の小学1~6年生の男子約50人が参加。本市からは7人の小学生力士が参加し、優勝を目指して熱戦を繰り広げ、土俵を取り囲んだ応援席の父母たちから大きな拍手と声援が送られました。

3年生の部で日下陸くん(深谷小)が決勝に進出。「物言い」が付き取り直しとなりましたが、見事勝利し、優勝しました。相撲を通して、礼儀や努力、思いやる心の大切さを子どもたちに学んでほしいと平成9年から開始されたこの大会。4年生以上の優勝者は、東京・両国国技館で開催される全国大会に出場することができます。

日下くんは「来年は優勝して両国にいきたくて」と笑顔で話してくれました。



1_中村部屋の飛翔富士さんと時桜さんが取り組みを披露 2_子どもたちのふれあい 3_3年生の部で優勝した日下くん